



人も猫も暮らしやすい町を…
町の中の猫を考える。

4

地域ねこ

3 地域ねこ対策のすすめ
シリーズ 野良猫を捕まえる・保護の仕方

1



素手で捕まえようとして
大変な結果に…!!

なついている猫でも油断は大敵です。
ひっかかれたときは外科病院へ……

保健所では地域ねこ対策に積極的に取り組んでいます。

- ①猫の去勢・不妊手術への助成金制度があります。
- ②地域ねこ対策の話し合いを開催します。
- ③野良猫被害防止のご相談を受けます。
- ④パンフレット、ちらしなどを作成します。

猫で困った問題がおきているときは、皆様からのご意見をもとに話し合いをすすめます。

そのためにご協力をお願いします。また地域ねこ活動をしているボランティアへのご理解とご協力を重ねてお願いいたします。

お問い合わせ 新宿区保健所衛生課管理係 電話 5273-3148 FAX 3209-1441

編集/新宿区「人と猫との調和のとれたまちづくり連絡協議会」
編集協力/イラストレーション © 中澤祥子・NPOねこだすけ

手術の実施

- 野良猫は警戒心の強い動物です。
- 手術のために保護するには、エサやりの人の協力が必要です。



保護する際の道具・エサの種類・時間帯・獣医師の予約
近隣へのお知らせなど詳しい方法は保健所やボランティアが
ご相談をおうけしています。

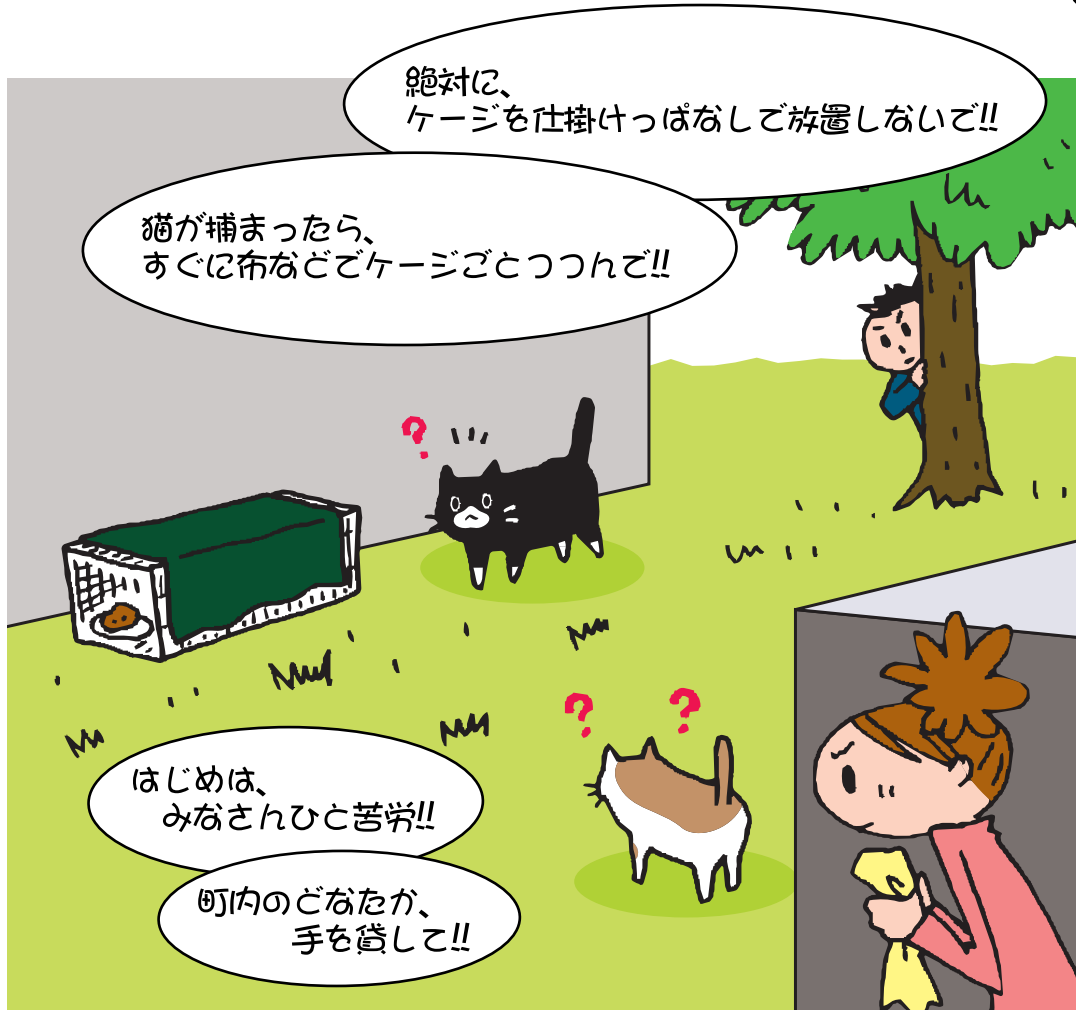


発行/新宿区保健所

保護のためには、時間と場所を特定しなければなりません。
時間と場所が決まったら、保護用ケージを仕掛けます。
このとき近くに見張ります。

2

地域ねこ
シリーズ 3



ケージに入った猫はパニック状態になり暴れます。
すぐに黒い布などでケージを覆い猫を落ち着かせます。

その後病院まで搬送しますが、
病院が閉まっている時間では一時預かりの場所が必要です。

多くの場合、

猫を保護する時間帯は深夜から明け方にかけてです。

3



恐怖でいっぱい猫はお漏らしをすることもあります。
ペットシートや多めの布を準備しておきます。
自転車・タクシー・電車も手術をするためには必要な手段です。